

## 2018年度活動報告書

NPO リンクトゥミャンマー

事業の柱である「在日ミャンマー人定住相談支援」を前年度に引き続き実施した。文化交流事業では、昨年度と同じくミャンマーパーティを実施したほか、他団体のセミナーへの講師派遣や金沢区国際交流イベント、湊フェスタに参加。ミャンマー語レッスンやミャンマー語母語教室が週1回のペースで開催されるようになり、当会会員のミャンマー人講師を新たに確保した。国際協力事業では、スタディツアーを実施し、クラウドファンディングサイトを立ち上げた。

### 【組織運営】

会員

2018年度会員加入実績

正会員 15人

賛助会員 3人 計18人が新規加入

会員合計 39人

### 【在日ミャンマー人定住支援事業】

#### ① 2018年度の相談支援実績

	2018年										2019年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ビザ申請	0	0	0	9	4	5	2	1	1	2	2	0	26	
通訳・翻訳	7	5	1	3	2	4	2	4	0	6	7	3	44	
施設手配	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
税金相談	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	5	
進学相談	5	0	1	0	1	3	0	0	0	1	3	5	19	
学校対応	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0	1	7	
その他	7	8	12	8	13	19	9	18	6	7	6	7	120	
月合計	19	13	16	20	22	32	17	24	7	17	19	16	222	

前年度 181 件より 122 パーセント増加

※その他支援内容：携帯電話契約更新、クレジットカード入会、退会支援、語学教育相談、

進学相談、病院紹介・同行、不動産賃貸契約支援ほか

② 昨今の電子商取引増加により、インターネット上の買い物で支援を求めるケースが増えている。それに伴うクレジットカード入会、退会手続きも増加している。ただクレジットカード入会は要件が厳しくなっているため、入会できないことも少なくない。そうすると、買い物にこまる外国人が増えているという実感はある。

③ 相談者の分析

- ・男女比 男性約 60%、女性約 40%。来日するミャンマー人は男性が多く、それを反映した結果だと思われる。
- ・民族 ラカイン人 50%、残り 50%はミャンマーのあらゆる民族からおしなべて相談を受けた。ラカイン人が多いのは、当団体ミャンマー人理事がラカイン人であることが理由としてあげられる。
- ・宗教 キリスト教徒からの相談は比較的少ない。教会ネットワークを通して問題解決にあたっていることが理由として考えられる。
- ・年齢 20 歳～50 歳

【文化交流事業】

① 参加・主催企画一覧

日付	企画名	参加者数
4月1日	ラカイン州寺院学校視察報告会の開催	5人
5月20日	かながわ湊フェスタへ出展	来場者約1000人
11月11日	ミャンマーパーティの開催	約30名
11月23日	金沢国際交流ラウンジフェスティバルにブース出展	約200人
2月3日	よこはま国際フォーラム 2019「日本にやって来たばかりの難民・移民になってみよう！」と題したグループディスカッション実施	参加者22名

※ミャンマー語教室は講師3名で、生徒10名が不定期に受講中。

※YMCA 多文化共生ボランティア養成講座へ講師派遣

※研究者支援のため、情報提供を不定期で実施

【国際協力活動】

日付	詳細	備考
5月～6月	クラウドファンディングサイト「キャンプ	252500円集まる

2019年5月13日

	アイヤー」で募金開始	
10月12～ 15日	ラカイン州タンドゥエ寺院学校訪問、スタ ディツアーで理事や参加者が、古着やパソ コンを届ける（鉛筆）を届ける	理事・ボランティア、参加者
2月末～4 月上旬	クラウドファンディングサイト「レディー フォー」で孤児院寄付を求める。	

2019年5月13日